

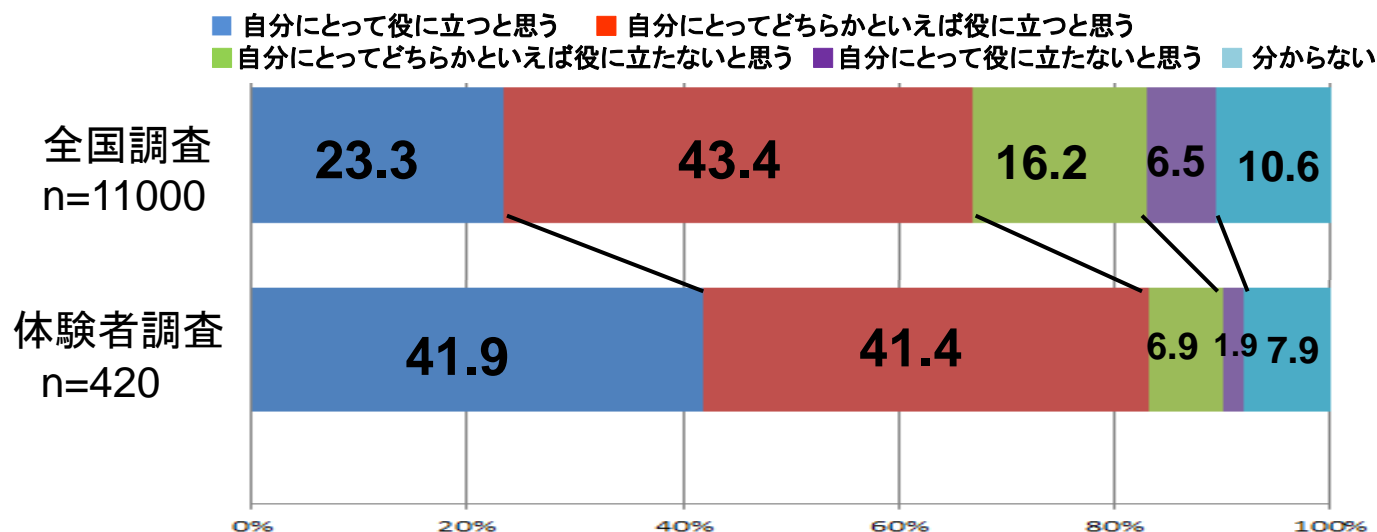
長周期地震動の予報 のニーズについて

「長周期地震動の予報」についてのニーズ

「長周期地震動の予報」についてのニーズ（平成25年度アンケート調査結果）

- 長周期地震動の予報が自分にとって役に立つと回答した人は全国調査で67%で、特に東日本大震災を高層ビルで体験した人の調査では83%と高かった

長周期地震動の予報のニーズ (%)



気象庁の聞き取りによる各事業者の「長周期地震動の予報」についてのニーズ

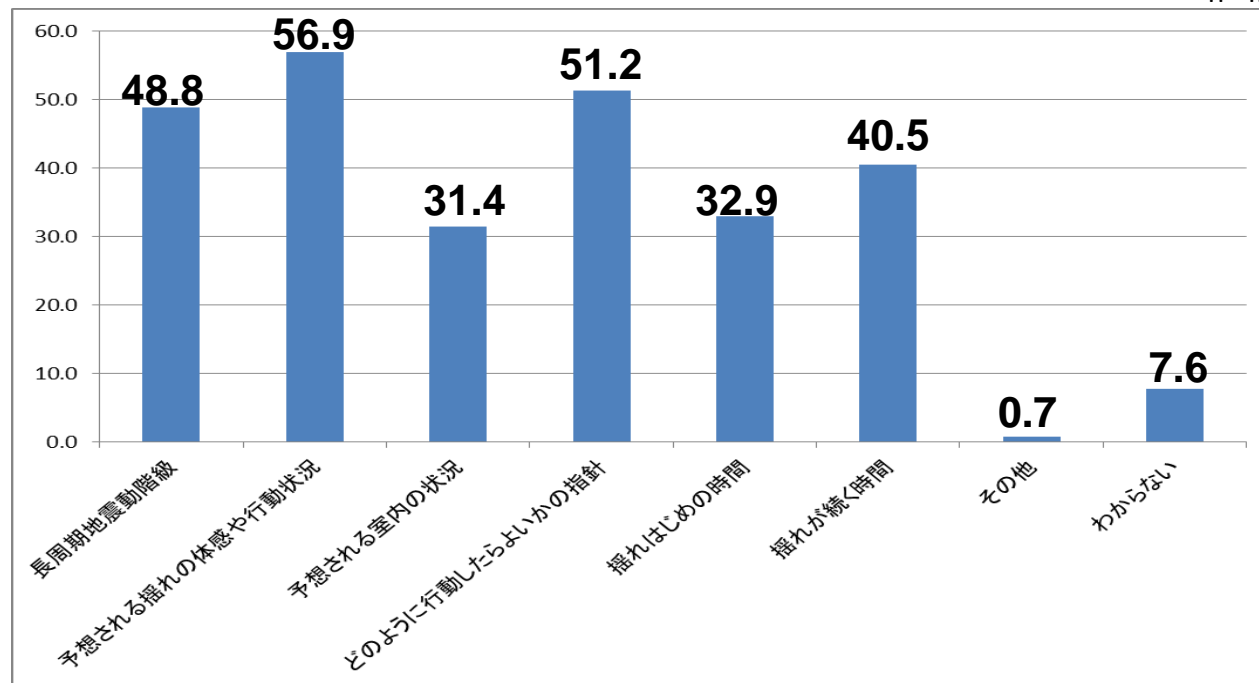
- エレベータの制御だけでなく、新たにエレベータを据え付ける作業をする時や、エレベータの保守点検の作業を行う際にも活用可能ではないか（エレベータ会社）
- マンションの管理人が、館内放送を行ったり、エレベータを停止させるのに必要な情報ではないか（マンションデベロッパー）

「長周期地震動の予報」の内容についてのニーズ

東日本大震災を高層ビルで体験した人の「長周期地震動の予報」の内容についてのニーズ（平成25年度アンケート調査結果）

- 予想される揺れの体感や行動状況、どのように行動したらよいかの指針を希望する人が多かった
- 長周期地震動階級や揺れが続く時間を知りたい人も多かった

長周期地震動の予報ではどのような情報が表示されるとよいと思いますか（%）（いくつでも） n=420



気象庁の聞き取りによる各事業者への「長周期地震動の予報」の内容についてのニーズ

- 猶予時間の情報があれば、エレベータを停止させるだけでなく、場合によってはエレベータの障害を予防するための措置がとれる可能性も考えられる（エレベータ会社）
- いつまでエレベータを止めておくのかが分かる情報が欲しい（エレベータ会社）
- 理想は階別の揺れの情報であるが、個々のビルの特性を踏まえる必要があるため、そのような詳細な予報は民間によって実施するべきかもしれない（予報業務許可事業者）

長周期地震動に関する情報(観測・予報)についての事業者へのニーズ調査概要

調査の背景

「長周期地震動に関する観測情報」の電文等を用いた配信のあり方、「長周期地震動の予報」に関するあり方の検討を、今後「長周期地震動に関する情報検討会」で進めていくことを計画

調査の目的

高層ビルや高層マンションの施設の管理者や施設内の事業者が実施している防災対策や東日本大震災時の対応などを調査する。また、より適切な防災対策をとる上での長周期地震動に関する情報(観測・予報)についてのニーズを調査する。これらの結果は、長周期地震動に関する情報(観測・予報)のあり方の検討をする際の基礎資料となる。

調査対象

1. 高層ビル・高層マンション(概ね15階建以上)の防災センター(管理組合も含む)のうち、所在地が東京23区、大阪市、名古屋市の事業者
2. 高層ビル高層階(概ね15階以上)にオフィス・店舗(自社ビルを含む)がある事業者のうち、所在地が東京23区、大阪市、名古屋市の事業者

調査方法

1. 2とも郵送配布によるアンケート調査を予定

調査の主な内容

1. 地震情報の防災対策への利活用について
2. 東日本大震災時の対応について
3. 長周期地震動の対策等について
4. 気象庁ホームページ上で公開している「長周期地震動に関する観測情報」の利活用状況
5. 「長周期地震動に関する観測情報」の電文等による配信のニーズについて
6. 「長周期地震動の予報」に関するニーズについて

- 長周期地震動に関する観測情報(電文等)
 - ・入手希望、提供手段、配信内容、利活用の方法 等
- 長周期地震動の予報
 - ・入手希望、提供手段、発表基準、発表タイミング
 - 配信内容、配信方法、利活用の方法 等

の検討を行うための基礎資料とする

スケジュール(予定)

- ・11月中 計画準備(アンケート作成、調査対象者抽出)
- ・11月下旬～12月はじめ アンケート配布
- ・12月～1月 アンケート回収後 入力・集計、分析

第8回 長周期地震動に関する情報検討会で集計結果について報告予定